

北海道洞爺湖サミット を終えて



北海道洞爺湖サミットが7月7日から9日まで洞爺湖町を主会場として行われ無事終了してから5カ月が経過しました。

サミット開催の検証を 今回サミットの世界的評価は サミット開催による経済効果は サミット開催による洞爺湖町の変貌（何が残ったのか） 町民の声の4つの観点から行ってみました。

今回サミットの

世界的評価は78点

今回のサミット参加国はG8
の他、招待国として気候変

動拡大会合（中国・インド・メ
キシコ・ブラジル・南アフリカ

・韓国・インドネシア・オース
トラリア）とアフリカ開発拡大

会合（アルジェリア・ガーナ・
ナイジェリア・セネガル・エチ

オピア・タンザニア）とAU
（アフリカ連合）22カ国2連合

5つの国際機関の参加で、過去
最大規模となりました。

今回のサミットでの主要議題
は地球温暖化など環境問題がメ

インテーマで、その他、アフリ
カ開発、世界経済、大量破壊兵

器の不拡散、テロなども議題に
のぼり、17時間に及ぶ会議時間

（ドイツでは8時間）の中、議
論が交わされました。また、こ

の他に各国による2カ国協議が
ありました。

サミット終了後、これまでサ
ミットに関する評価を行ってき

た、カナダ州立トロント大学の
調査グループによる今回のサミ

ットに対する評価はBプラスで
日本の評価点数でいうと78点と

の評価であり、これまで国内開
催の中で最高の評価でありまし

た。（沖縄評価：74点）福田
前首相からも洞爺湖町の歓迎体

制については、大変好評であつ
たと話され、長崎町長に感謝の

言葉をいただきました。

サミット開催による

経済効果は

北海道全体の経済効果

報道を通じたPR効果（北海

道・洞爺湖の地名発信）

媒体を国内の新聞・雑誌・テ

レビ、海外の新聞・雑誌・テレ

ビ。対象期間を平成19年4月～

平成20年7月。試算根拠を広告

費換算として、結果は約1、0

13億円（7/5～11：約5

30億円）